



# 発注書フォームの作成

2009年11月

**Adobe® LiveCycle™ Designer ES2**

バージョン9

© 2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe® LiveCycle™ Designer ES2 (9.0) 発注書フォームの作成 (Microsoft® Windows® 版)

2009年11月

This tutorial is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the tutorial for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the tutorial; and (2) any reuse or distribution of the tutorial contains a notice that use of the tutorial is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>.

Adobe, Adobe logo, Adobe Reader, Acrobat, and LiveCycle are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Microsoft and Windows are either trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

# このチュートリアルについて

このチュートリアルでは、フォームを印刷ボタンを含むインタラクティブな発注書フォームを作成するプロセスを学習します。フォームのユーザーがこのボタンをクリックすると、フォームが印刷されます。そして、ユーザーが入力した情報は紙に印刷された形で発注先に送付されます。このチュートリアルでは、基本的な概念だけでなく、簡単な自動計算の機能を追加する方法についても学習します。後で作るフォームの種類がどのようなものであっても、入門としてはこのチュートリアルが便利でしょう。

## 追加情報

内容	参照先
他のフォームデザインのチュートリアル	<a href="#">フローレイアウトを持つ発注書フォームの作成</a> <a href="#">フォームデザインに含めるフラグメントの作成方法と使用方法</a>

# 発注書フォームの作成

発注書フォームの作成に関連する手順は、以下のとおりです。

発注書フォームの作成について

フォームデザインの開始

ロゴの追加

発注書タイトルの追加

発注番号用のテキストフィールドの追加

発注日付の日付フィールドの追加

作業結果のプレビュー

住所ブロックの追加

発注書の詳細の追加

発注書テーブルの移動

発注書テーブルのサイズ調整

ヘッダ行へのラベルの入力

パーツ番号セルおよび説明セルをテキストフィールドとして指定

セルから数値フィールドへの変換

フィールドの命名

小計列での演算の実行

発注書テーブルへの列の追加

フォームの内容の名前変更

テーブル下端への合計の挿入

税金フィールドの挿入

配送料フィールドの挿入

総合計フィールドの挿入

取引条件セクションの追加

署名フィールドオブジェクトの追加

## 発注書フォームの作成について

1日の仕事の間には、発注書、請求書、給与計算表、勤怠管理表など多くの異なる種類のフォームを処理することがあります。

- フォームには、直接手書きまたは電子入力します。
- フォームには、フォームにデータをマージするサーバーベースの処理と組み合わせて入力します。
- フォームは、両者を組み合わせたものです。

このチュートリアルを完了すると、次のような発注書を作成できます。



**Finance**  
ファイナンス株式会社

**発注書**

発注元

国

郵便番号  県名

市名

番地

電話番号

Fax 番号

担当者

発注番号

発注日付

配送先

国

郵便番号  県名

市名

番地

電話番号

Fax 番号

担当者

パーツ番号	内 容	数 量	単 価	小 計

取引条件

署名

合計

地方税 %  地方税

消費税 %  消費税

配送料

総合計

## フォームデザインの開始

発注書フォームに求められる要件は、PDF形式の1ページのフォームであることです。ユーザーは Adobe Reader を使用して電子的にフォームに記入した後、フォーム上に表示される印刷ボタンを使用してフォームを印刷し、入力した情報を紙に印刷した形で送付します。

LiveCycle Designer ES2 では、フォームデザインの作成時に手間をかけずに作業を開始する方法がいくつか用意されています。このチュートリアルでは、新規フォームアシスタントを使用して、発注書フォームデザインを作成します。新規フォームアシスタントでは、フォームの配布方法や入力済みフォームの返送方法などが案内されるため、フォームデザインを簡単に開始することができます。

- 1 ファイル／新規を選択します。

新規フォームアシスタントが表示されます。

- 2 「次へ」をクリックします。

- 3 「ページサイズ」で「A4」を選択します。

- 4 「次へ」をクリックします。

- 5 「印刷ボタンの追加」を選択します。「電子メールボタンの追加」が選択されている場合は、選択を解除します。

LiveCycle Designer ES2 によってフォームデザインに「印刷フォーム」ボタンが追加されます。フォームの入力を完了したユーザーは、「印刷フォーム」ボタンをクリックしてフォームを印刷します。

- 6 「完了」をクリックします。

レイアウトエディターに新しいフォームデザインが表示されます。

## ロゴの追加

この節では、発注書にロゴを追加します。



- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、画像オブジェクト  をフォームデザインの左上隅にドラッグします。

- 2 プレースホルダーをダブルクリックし、画像ファイルを検索します。

例えば、ユーザーが LiveCycle Designer ES2 に付属のサンプルをインストールしている場合、LiveCycle Designer ES2 インストールフォルダーを検索し、次の画像ファイルを開きます。

JA\Samples\FORMS\Purchase Order\Images\Purchase Order.tif.



- 3 オブジェクトパレットで、サイズ調整リストから「元のサイズを使用」を選択します。

## 発注書タイトルの追加

この節では、発注書にタイトルを追加します。




### 発注書

- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、テキストオブジェクト  をロゴの下にドラッグします。
  - 2 テキストオブジェクト内のテキストを選択し、「発注書」と入力します。
  - 3 テキストオブジェクト内のテキストを選択し、フォントパレットでサイズリストから「20」、スタイルリストから「Bold」を選択します。
-  オブジェクトにデフォルトのフォントを設定できます。例えば、すべてのテキストオブジェクトのデフォルトフォントを「Kozuka Gothic Std B」に設定する場合、フォームにテキストオブジェクトを挿入し、フォントを「Kozuka Gothic Std B」に変更してから、テキストオブジェクトをオブジェクトライブラリパレットの標準カテゴリにドラッグします。ライブラリオブジェクトの追加ダイアログボックスで、「テキスト」と入力し、「OK」をクリックします。LiveCycle Designer ES2 により、既存のテキストオブジェクトを置き換えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。

## 発注番号用のテキストフィールドの追加

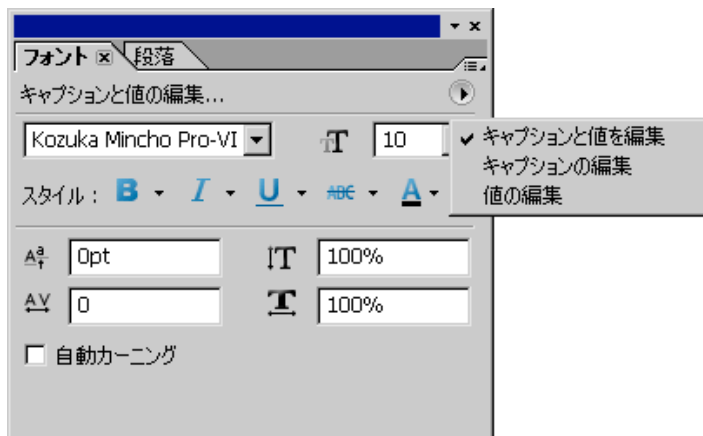
次に、発注番号用のテキストフィールドを使用する必要があります。このフォームでは、このテキストフィールドに 10 の番号を設定します。

発注番号

- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、テキストフィールドオブジェクト  をフォームの右上隅にドラッグします。
- 2 テキストフィールドオブジェクト内のテキストを選択し、「発注番号」と入力します。

## 発注日付の日付フィールドの追加

💡 テキストフィールドを選択すると、キャプションおよび値の両方のフォント、フォントサイズ、スタイルを変更できます。キャプション（フィールドのラベル）は、（フォームのユーザーがデータを入力する）値の横に表示します。フォントパレットのパレットメニューを使用して、キャプションおよび値のフォントを変更します。




次に、フィールドの長さを 10 個の番号に設定する必要があります。

- 3 オブジェクトパレットで「フィールド」タブをクリックし、「文字数の制限」オプションを選択します。「最大文字数」ボックスに「10」と入力します。

## 発注日付の日付フィールドの追加

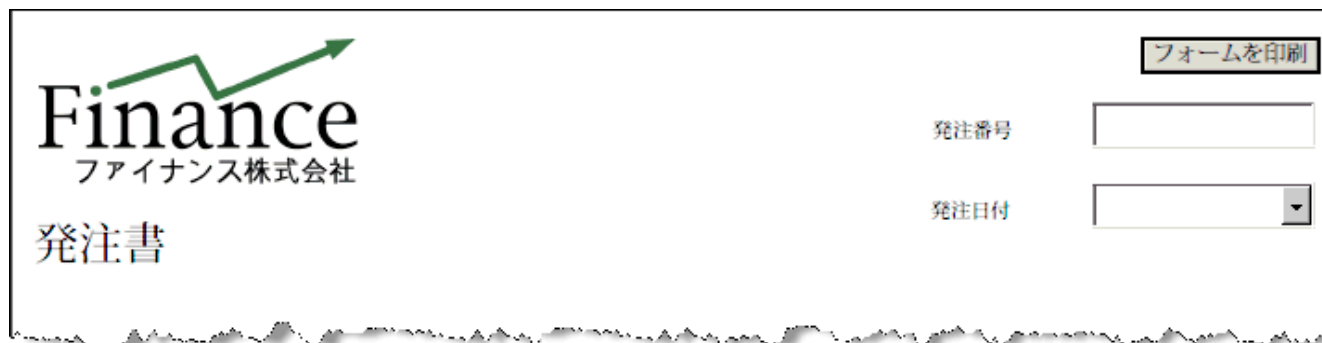
ユーザーは日付 / 時間フィールドオブジェクトを使用すると、簡単に日付を選択できます。Acrobat でフォームを表示しているとき、ユーザーが発注日付のドロップダウンリストをクリックすると、フォームには次のようなカレンダーが表示されます。



- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、日付 / 時間フィールドオブジェクト  をフォームの発注番号の下にドラッグします。
- 2 日付 / 時間フィールドオブジェクトにあるテキストを選択し、「発注日付」と入力します。

## 作業結果のプレビュー

作業中に、フォームデザインをプレビューし、実際にフォームに入力するユーザーにどう見えるかを確認できます。例えば、フォームは次のように見えます。



The image shows a preview of a form design. On the left, there is a logo for 'Finance' (ファイナンス株式会社) with a green line graph above the text. Below the logo, the text '発注書' (Order Form) is displayed. On the right side of the form, there is a button labeled 'フォームを印刷' (Print Form). Below the button, there are two input fields: one labeled '発注番号' (Order Number) and another labeled '発注日付' (Order Date) with a dropdown arrow.

- 1 「PDF プレビュー」 タブをクリックします。
- 2 フォームデザインの編集に戻るには、「デザインビュー」タブをクリックします。

## フォームデザインの保存

ここで、作成したフォームを保存することをお勧めします。作成したフォームデザインを PDF ファイルとして保存することにより、ユーザーが電子的にフォームに記入し、「フォームを印刷」ボタンを使用してフォームを印刷することを可能にします。



- 1 ファイル/名前を付けて保存をクリックします。
- 2 フォームデザインの位置を選択し、「ファイル名」ボックスに名前を入力します。
- 3 名前を付けて保存ダイアログの「ファイルの種類」リストから「Adobe スタティック PDF フォーム (\*.pdf)」を選択します。

## 住所ブロックの追加

LiveCycle Designer ES2 には、フォームをすばやく作成できる定義済みのカスタムオブジェクトが含まれています。例えば、このチュートリアルでは、住所ブロックのカスタムライブラリオブジェクトを使用して、いくつかのフィールドを同時に挿入できます。

名	<input type="text"/>		
国	<input type="text"/>		
郵便番号	<input type="text"/>	県名	<input type="text"/>
市名	<input type="text"/>		
番地	<input type="text"/>		

## 住所ブロックの追加

- 1 オブジェクトライブラリパレットでカスタムカテゴリをクリックし、住所ブロックフィールドオブジェクト  をフォームの発注書タイトルの下にドラッグします。
- 2 「名前」テキストフィールド名を「発注元」に変更します。
- 3 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、テキストフィールドオブジェクト  をフォームの国名フィールドの下にドラッグします。
- 4 テキストフィールドオブジェクトに「電話番号」という名前を付けます。
- 5 別のテキストフィールドオブジェクトを追加して、「Fax 番号」という名前を付けます。
- 6 別のテキストフィールドオブジェクトをフォーム上の「Fax 番号」の下に追加します。
- 7 テキストフィールドオブジェクトに「担当者」という名前を付けます。
- 8 このオブジェクトの横に 2 番目の住所ブロックを挿入できるようにするには、手順 1 ～ 7 で作成したフィールドをすべてドラッグして選択し、右側のサイズ調整ハンドルを使用して 1.27 cm ほど住所ブロックの幅を狭めます。
- 9 選択したフィールドをコピーして、発注元住所ブロックの隣に貼り付けます。
- 10 2 番目の発注元フィールドの名前を「発送先」に変更します。

この時点で、フォームは次のように見えます。



Finance  
ファイナンス株式会社

発注書

フォームを印刷

発注番号

発注日付

発注元

国

郵便番号  県名

市名

番地

電話番号

Fax 番号

担当者

配送先

国

郵便番号  県名

市名


番地

電話番号

Fax 番号

担当者

ここでも「PDF プレビュー」タブを使用してフォームをプレビューできます。

 フォームを見栄えよくするために、くぼんだボックス状のフィールドの外観を変更することができます。そのためには、オブジェクトを選択し、オブジェクトパレットで「フィールド」タブをクリックして、表示方法リストから「下線付き」を選択します。

## 発注書の詳細の追加

その後、パーツ番号、項目の説明、数量、単価、各項目の合計数を含む表を追加する必要があります。表を使用すると、このセクションを簡単に作成できます。表には列を 5 つ作成します。

LiveCycle Designer ES2 で初めて表を作成するときは、テーブルアシスタントを使用すると簡単です。

- 1 テーブル/テーブルの挿入を選択します。
- 2 「アシスタントを使用したテーブルの作成」オプションを選択し、「OK」をクリックします。
- 3 「ボディは固定配列」の下で、列数に「5」、ボディの行数に「1」を入力し、「次へ」をクリックします。
- 4 「ヘッダー行あり」オプションを選択し、「次へ」をクリックします。
- 5 「フッター行なし」オプションが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 6 「ボディ行を保持し、セクションなし」オプションを選択し、「次へ」をクリックします。
- 7 「1 行おきに色を変える」オプションの選択を解除し、「完了」をクリックします。

## 発注書テーブルの移動

挿入したテーブルは、次のようになります。

ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー	ヘッダー


A. テーブル全体を移動するためのカーソル B. ヘッダー行 C. ボディ列


次に、テーブルを住所ブロックの下に配置します。

- 1 テーブルが選択されていない場合は、次のカーソルが表示されるようになるまでカーソルを左上角に移動します。



- 2 クリックして表全体を選択します。

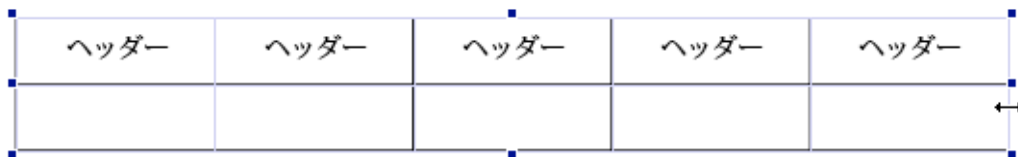
 表全体を選択するためのもう 1 つの方法は、セルを選択し、次にテーブル/選択を選択し、さらにテーブルを選択することです。クリックしてドラッグしても選択できます。

- 3 移動カーソル  が表示されるまで、テーブルの左上隅にマウスを移動します。
- 4 テーブルを新しい位置にドラッグします。


## 発注書テーブルのサイズ調整

ページの幅に収まるようにテーブルのサイズを調整することができます。デフォルトでは、ページは中央に配置されています。

- 1 テーブルを選択します。




- 2 移動カーソル（前述の手順を参照）が表示されるように、右側の中心ハンドルにカーソルを移動します。
- 3 ページの幅に収まるように、テーブルをドラッグします。


 すべての列を同じ幅にするには、テーブル／列を水平方向に分布を選択します。

## ヘッダー行へのラベルの入力

- 1 テーブルの最初のセルをダブルクリックし、「パーツ番号」と入力します。
- 2 次のように表示されるように、ヘッダー行の残りのセルに対して手順 1 を繰り返します。

パーツ番号	内 容	数量	単価	小計
-------	-----	----	----	----

 区別しやすいように、この行に塗りつぶしを適用することができます。塗りつぶしを適用するには、次のカーソルが表示 ➡ されるまで、行の左側にカーソルを移動して行を選択します。

次に、境界線パレットの背景の塗りつぶしリストから「ベタ塗り」を選択します。最後に、カラーピッカー  から色を選択します。

この時点で、フォームは次のように見えます。

Finance  
ファイナンス株式会社

発注書

発注元

国

郵便番号

市名

番地

電話番号

Fax 番号

担当者

配送先

国

郵便番号

市名

番地

電話番号

Fax 番号

担当者

発注番号

発注日付

フォームを印刷

パーツ番号	内容	数量	単価	小計

## パーツ番号セルおよび説明セルをテキストフィールドとして指定

デフォルトでは、テーブルのセルはテキストオブジェクトとして設定されています。次に、「説明」列のセルをテキストフィールドとして設定します。テキストフィールドを用意しておくと、ユーザーはフィールド内で任意のテキストを入力、選択、編集、切り取り、コピー、貼り付けおよび削除することができます。テキストオブジェクトは、エンドユーザーが編集できない読み取り専用のテキストです。

- 1 「パーツ番号」の下のセルを選択します。
- 2 オブジェクトパレットで、「セル」タブをクリックし、種類リストで「テキストフィールド」を選択します。
- 3 表示方法リストで「なし」を選択します。
- 4 「複数行」オプションを選択します。
- 5 「説明」セルについても、手順 1～4 を繰り返します。


## セルから数値フィールドへの変換

次に、「数量」、「単価」、「小計」を数値フィールドとして設定します。

- 1 「数量」の下の最初のセルを選択します。



- 2 オブジェクトパレットで、「セル」タブをクリックし、種類リストで「数値フィールド」を選択します。
- 3 「セル」タブで、表示方法リストから「なし」を選択します。
- 4 「単価」と「小計」についても、手順1～3を繰り返します。

 単価フィールドと小計フィールドには通貨が表示されます。数値を通貨として表示するようにデータをフォーマットするには、「単価」および「小計」列のセルをドラッグして選択します。次にオブジェクトパレットで「セル」タブを選択し、「パターン」ボタンをクリックし、「パターン」ボックスに「\$z,zz9.99」と入力します。

## フィールドの命名

フォームの読みやすさと使いやすさを向上するため、および、演算を実行できるようにするために、フィールドの名前は変更することをお勧めします。演算を実行するには、フィールドの名前を正確に特定できる必要があります。

**注意：** LiveCycle Designer ES2 では、大文字と小文字が区別されます。

- 1 「パーツ番号」の下のセルを選択します。
- 2 オブジェクトパレットで「連結」タブをクリックし、「名前」ボックスに「partNo」と入力します。
- 3 残りの列で手順1および2を繰り返し、次のように命名します。
  - description
  - quantity
  - unitPrice
  - amount

## 小計列での演算の実行

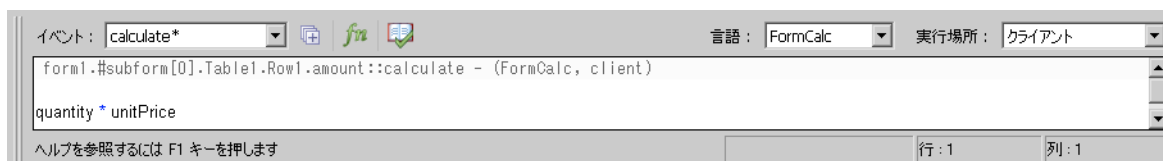
「小計」列には発注アイテム数に単価をかけた結果が表示される必要があります。LiveCycle Designer ES2 では、FormCalc または JavaScript を使用して演算を実行します。ここでの演算には、FormCalc を使用します。FormCalc は、一般的な表計算ソフトウェアをモデルとした簡単かつ強力な演算言語です。FormCalc の目的は、従来のスクリプティングテクニックや言語の知識がなくても、すばやくかつ効果的なフォームデザインを容易にすることです。フォームの異なるオブジェクトに演算を入力するには、スクリプトエディターを使用します。

- 1 まだスクリプトエディターが表示されていない場合は、ウィンドウ/スクリプトエディターを選択します。
- 2 必要に応じて、スクリプトエディターのパレットバーをドラッグして、パレットを大きくします。
- 3 「小計」の下のセルを選択します。
- 4 イベントリストから「calculate」を選択します。
- 5 言語リストから「FormCalc」、実行位置リストから「クライアント」を選択します。

## 発注書テーブルへの列の追加

- 6 スクリプト編集フィールドに、次の計算式を入力します。

```
quantity * unitPrice
```



- 7 セルの選択を解除し、スクリプトをフォームに追加します。
- 8 この列を読み取り専用を設定するには、オブジェクトパレットでセルを再度選択してから「値」タブをクリックし、種類リストで「計算済み - 読み取り専用」を選択します。

## 発注書テーブルへの列の追加

このフォームでは、ユーザーが発注するアイテムを入力する列が7つ必要です。「複数コピー」コマンドを使用すると、複数の列を同時に追加できて便利です。

- 1 ボディ列をドラッグして選択します。
- 2 編集/複数コピーを選択します。
- 3 「複製する回数」ボックスに「6」と入力します。
- 4 「下に配置」オプションを選択します。
- 5 「垂直間隔」ボックスで「密着」オプションが選択されていることを確認します。

## フォームの内容の名前変更

この時点で、フォームは次のように見えます。


パーツ番号	内容	数量	単価	小計

## フォームの内容の名前変更

フォームを整理するため、およびフォーム内の各領域を識別できるようにするために、フォーム内のオブジェクト名は変更することをお勧めします。それには、階層パレットを使用すると便利です。階層パレットには、フォーム内の構造が視覚的に表示されます。

- 1 ウィンドウ/階層を選択します。
- 2 階層の最初のオブジェクトである `form1` を選択します。
- 3 F2 キーを押すか、右クリックして「オブジェクト名の変更」を選択します。
- 4 「PurchaseOrderForm」という新しい名前を入力します。
- 5 「(名称未設定サブフォーム) (ページ 1)」に「PurchaseOrder」という名前を付けます。

このチュートリアルでは、フォームの残りの内容の名前を変更する必要はありませんが、ここで任意の名前に変更することもできます。

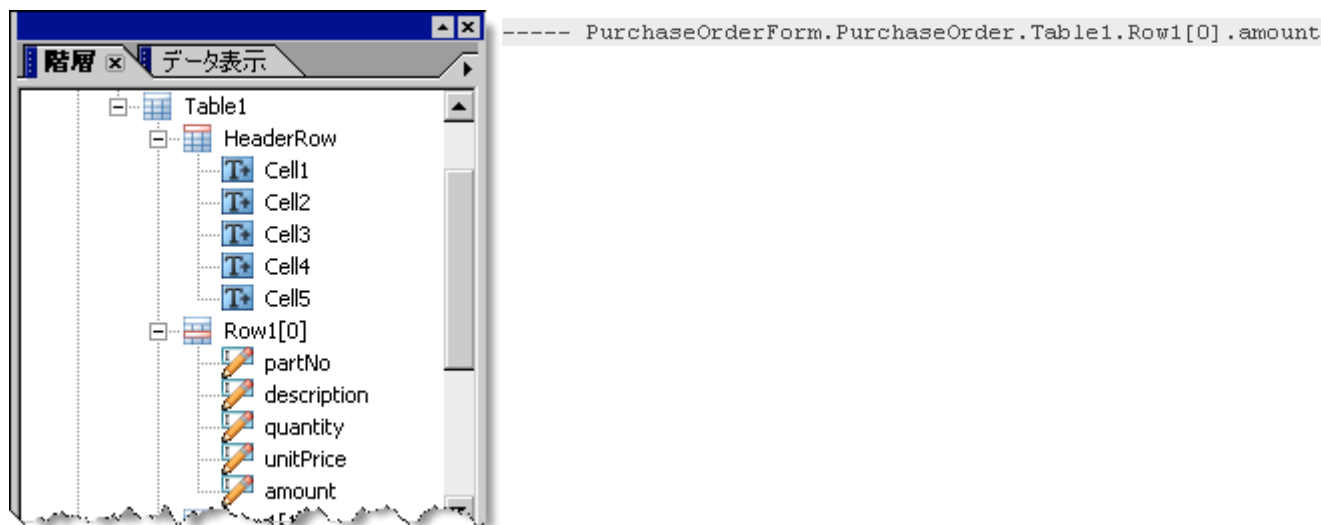
 また、オブジェクトを選択してドラッグし、上下に移動することもできます。

## テーブル下端への合計の挿入

演算を実行するには、FormCalc が演算に使用するオブジェクトを知っている必要があります。この手順では、「小計」列のすべてのデータの合計を算出します。「小計」列のセルを選択する場合、スクリプトエディターでの内部名を表示できます（スクリプトエディターのサイズを大きくした場合）。


内部名に表示される内容は、階層に表示される内容に関連しています。「PurchaseOrderForm」が先頭に表示され、次に「PurchaseOrder」の順に表示されます。

テーブルのすべての列は、「Row1」の後にデフォルトのインスタンス番号が続きます。1 列にデータを追加できるようにするには、すべての行が同じ名前に変更されている必要があります。



ここで、テーブルの下端に演算の合計を追加します。

合計

- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、数値フィールドオブジェクト  をフォーム上の合計フィールドの下にドラッグします。
- 2 数値フィールドオブジェクト内のキャプションテキストを選択し、「合計」と入力します。
- 3 オブジェクトパレットで、「フィールド」タブをクリックし、表示方法リストから「ボックス（実線）」を選択します。
- 4 スクリプトエディターで、イベントリストから「calculate」を選択します。
- 5 言語リストから「FormCalc」、実行位置リストから「クライアント」を選択します。
- 6 スクリプト編集フィールドに、次の計算式を入力します。

```
sum(Table1.Row1[*].amount[*])
```

ワイルドカード文字 (\*) は、LiveCycle Designer ES2 に対して、Row1 という行のすべてのデータおよび「小計」列のすべてのデータを収集するように指示します。


- 7 数値フィールドオブジェクトの選択を解除し、スクリプトをフォームに追加してから、再び選択します。
- 8 オブジェクトパレットで「連結」タブをクリックし、「名前」ボックスに「合計」と入力します。
- 9 「フィールド」タブをクリックし、「パターン」ボタンをクリックして「パターン」ボックスに「\$z,zz9.99.」と入力します。
- 10 「値」タブをクリックし、種類リストで「計算済み - 読み取り専用」を選択します。

## 税金フィールドの挿入

発注書では、該当する地方税および消費税を計算する必要があります。そのためには、税率を表示するフィールドと税額を表示する計算済みフィールドを作成する必要があります。

地方税 %	6.00%	地方税	¥0
消費税 %	8.00%	消費税	¥0

### 地方税%フィールドを挿入するには

- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、数値フィールドオブジェクト  をフォーム上の合計フィールドの下にドラッグします。
- 2 数値フィールドオブジェクト内のキャプションテキストを選択し、「地方税 %」と入力します。  
フィールドのサイズを調整して小さくすることができます。
- 3 オブジェクトパレットで、「フィールド」タブをクリックし、表示方法リストで「ボックス (実線)」を選択します。
- 4 「パターン」ボタンをクリックし、「パターン」ボックスに「z9.99%」と入力します。
- 5 「連結」タブをクリックし、「名前」ボックスに「stateTaxPercent」と入力します。
- 6 「値」タブをクリックし、「デフォルト」ボックスに「6」と入力します。

### 地方税フィールドを挿入するには

- 1 地方税 % フィールドをコピーして、その隣に貼り付けます。
- 2 貼り付けたフィールドのテキストを選択し、「地方税」と入力します。
- 3 スクリプトエディターで、イベントリストから「calculate」を選択します。
- 4 スクリプト編集フィールドに、次の計算式を入力します。  
 $(total * stateTaxPercent / 100)$
- 5 数値フィールドオブジェクトの選択を解除し、スクリプトをフォームに追加します。
- 6 オブジェクトパレットで「連結」タブをクリックし、「名前」ボックスに「stateTax」と入力します。
- 7 「フィールド」タブをクリックし、「パターン」ボタンをクリックして「パターン」ボックスに「\$z,zz9.99」と入力します。
- 8 「値」タブをクリックし、種類リストで「計算済み - 読み取り専用」を選択します。


### 消費税 % フィールドと消費税フィールドを挿入するには

- 1 地方税 % フィールドを挿入する手順を繰り返します。
- 2 地方税フィールドを挿入する手順を繰り返します。
- 3 次の手順に従って、これらのフィールドを消費税用のフィールドに変更します。
  - 「地方」という言葉の出現箇所を、すべて「消費」に変更します。
  - 消費税率のデフォルト値を 8 パーセントに設定します。
  - 消費税の計算式を次のように設定します。  
 $(total * federalTaxPercent / 100)$

## 配送料フィールドの挿入

デフォルトでは、\$50.00 の配送料が適用されています。ただし、ユーザーは必要に応じて異なる配送料を入力できます。


配送料

- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、数値フィールドオブジェクト  をフォーム上の消費税フィールドの下にドラッグします。
- 2 数値フィールドオブジェクト内のキャプションテキストを選択し、「配送料」と入力します。
- 3 オブジェクトパレットで「連結」タブをクリックし、「名前」ボックスに「shippingCharge」と入力します。
- 4 「フィールド」タブをクリックし、表示方法リストで「ボックス (実線)」を選択します。
- 5 「フィールド」タブをクリックし、「パターン」ボタンをクリックして「パターン」ボックスに「\$z, zz9.99」と入力します。
- 6 「値」タブをクリックし、「デフォルト」ボックスに「50」と入力します。

## 総合計フィールドの挿入

次に、アイテム、税金、配送料の合計を表示する総合計フィールドを追加します。

総合計


- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、数値フィールドオブジェクト  をフォーム上のテーブルの下にドラッグします。
- 2 数値フィールドオブジェクト内のキャプションテキストを選択し、「総合計」と入力します。
- 3 オブジェクトパレットで「連結」タブをクリックし、「名前」ボックスに「grandTotal」と入力します。
- 4 「フィールド」タブをクリックし、表示方法リストで「ボックス (実線)」を選択します。
- 5 「パターン」ボタンをクリックして「パターン」ボックスに「\$z, zz9.99」と入力します。
- 6 「値」タブをクリックし、種類リストで「計算済み - 読み取り専用」を選択します。
- 7 スクリプトエディターで、イベントリストから「calculate」を選択します。
- 8 スクリプト編集フィールドに、次の計算式を入力します。  
`sum (total, stateTax, federalTax, shippingCharge)`
- 9 数値フィールドオブジェクトの選択を解除し、スクリプトをフォームに追加します。

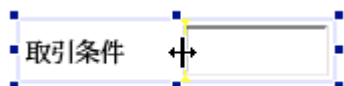
## 取引条件セクションの追加

次に、アイテムの支払方法を説明する取引条件を追加します。

### 取引条件



- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、テキストフィールドオブジェクト  をフォームのテーブルの下、演算の横にドラッグします。
- 2 「取引条件」という名前を付けます。  
キャプションが収まるように、フィールドのサイズを調整する必要があります。フィールドのサイズを調整するには、フィールドの左の境界線にカーソルを移動します。クリックし、ドラッグしてサイズを調整します。




- 3 オブジェクトパレットで「フィールド」タブをクリックし、「複数行」オプションを選択します。
- 4 表示方法リストから「ボックス（実線）」を選択します。
- 5 レイアウトパレットで、キャプションの位置リストから「上」を選択します。
- 6 ボックスをドラッグし、サイズを調整して大きくします。

## 署名フィールドオブジェクトの追加

フォームのユーザーが Adobe Acrobat の署名機能を使用して文書に署名できるようにするには、署名フィールドオブジェクトをフォームデザインに追加します。

署名



- 1 オブジェクトライブラリパレットで標準カテゴリをクリックし、署名フィールドオブジェクト  をフォーム上の「取引条件」セクションの下にドラッグします。
- 2 署名フィールドオブジェクトのテキストを選択し、「署名」と入力します。
- 3 オブジェクトパレットで、表示方法リストから「下線付き」を選択します。
- 4 フィールドをドラッグし、サイズを調整して大きくします。

この時点で、フォームは次のように見えます。



**Finance**  
ファイナンス株式会社

## 発注書

発注元

国

郵便番号  県名

市名

番地

電話番号

Fax 番号

担当者

配送先

国

郵便番号  県名

市名

番地

電話番号

Fax 番号

担当者

パーツ番号	内 容	数 量	単 価	小 計

取引条件

署名

合計

地方税 %  地方税

消費税 %  消費税

配送料

総合計

## 次のステップ

このフォームは、LiveCycle Designer ES2 で作成できる多様なフォームの一例にすぎません。フォームの作成について詳しくは、[LiveCycle Designer ES2 ヘルプ](#)の「フォームについて」を参照してください。

[フローレイアウトを持つ発注書フォームの作成についてのチュートリアル](#)を終了することもできます。